



劇団ステージタイガー舞台公演 タイトル「協走組曲」のご提案



企画・制作 ステージタイガー
代表 杉岡亮介

〒658-0081 神戸市東灘区田中町 1-14-23-1007

TEL / Fax 078-451-0773

専用携帯 080-3781-1042

メール to@st-tg.net

劇団HP <http://st-tg.net>

《劇団ステージタイガーの概要紹介》

2009年8月、関西小劇場界で10年間活動を続けた前身の劇団「特攻舞台 Baku-団」を解散し、新たな表現を求め同年12月に劇団「ステージタイガー」を旗揚げ。

以降、2013年の現在に至るまで、関西の小演劇界を中心に精力的に活動を続ける劇団です。

その独特の表現スタイルは、関西小劇場界では唯一無二との評価を受けています。

俳優たちの鍛え上げられた圧倒的な筋肉。それに最大限の負荷をかける事により、人間の奥深くに眠る野生のエネルギーを創出することを信条とし、余計な小細工無用のストレートプレイを最も得意とします。

そんな超体育会系演劇を目指すステージタイガーは、関西を代表する強く、切なく、そして狂おしい劇団です。

自主公演だけに収まらず、ライブハウス、廃校、市の依頼による文化ホールでの公演、ABC放送局「春の文化祭2013」への参加など、活躍は多岐にわたります。

《主な過去の公演実績》

2009年の旗揚げ以降、精力的に活動を続けるステージタイガー。最近は関西に留まらず、その活動の場を広く全国に拡大中です。その活動の中でも主だったものの一部を紹介させていただきます。

【2009年】

11月「虎をかる男」

Soap opera classics (心齋橋)

12月「超☆恋愛小説」

in→dependent theatre 2nd (日本橋)

【2010年】

7月「ボディ&ビルディング」

in→dependent theatre 2nd

10月「紅の虎」

in→dependent theatre 1st「真紅組」との合同公演。

6月～11月「病的船団」「そこにあるヒビ／メディアライブ」

半年間で2作品をロングラン公演。

12月「AIR」

NHK『ぐるっと関西おひるまえ』にて ON AIR。

【2011年】

4月「灼熱二声」

in→dependent theatre 1st

6月「リング・リング・リング～女子プロレス純情物語」 一心寺シアター倶楽つかこうへい追悼企画参加作品

9月「砂ニ咲ク花」

in→dependent theatre 2nd

10月 題名のない文化祭ファイナル「ハルカニホテル2」

旧北天満小学校

【2012年】 1年を通して「協走組曲プロジェクトを実施」そして完成

【2013年】

3月「MIRROR⇔FLAME」

松原市文化会館

松原市とのコラボ公演

9月「BUMP！」

道頓堀ZAZA

2012年の名作『協走組曲』はいつでも走ります。

《協走組曲プロジェクトとはなにか》

協走組曲とは 2012 年にステージタイガーが掲げた新たな作品作りの試みです。

同テーマ、同モチーフの作品を、形態を変えながら 1 年をかけて上演するプロジェクト。徐々に世界観やオリジナルの劇中音楽を練り上げ、さらに完成度と想いを磨きあげて、毎回のお客様に感動と勇気を伝えることを目指す、質の高い舞台表現に特化した作品です。

2012 年 3 月「協走組曲～序章～」の公演よりプロジェクトを開始し、同年 5 月には「協走組曲～第 2 楽章～」、7 月には劇団の本公演としての「協走組曲～第 3 楽章～」の 1 週間のロングランを成功させ、11 月には最終章として、劇中曲を提供したバンド ALL SWAMPS の生演奏とのコラボレーション、「ステージタイガー LIVE001 協走組曲」を梅田amHALLにて上演。

結果、そのストレートかつ情熱的な舞台は各方面での反響を呼びました。

「協走組曲」のあらすじ

オリンピック代表候補のマラソンランナー、カナデはバイク事故で視力を失ってしまう。しかし、彼女は伴走を依頼し、もう一度大会を目指すのだった。彼女の心にはいつだって勇気づけてくれた、ある「音楽」があったのだ。そのリズムを頼りに走り続けるカナデ。そこに、2人の伴走候補者が現れた。一人は、彼女に恋い焦がれる交通機動隊隊員のツツキ。そしてもう一人は、15年前に姿を消したカナデの夫の父親、ハジメだった。音楽が繋ぐ、親子と夫婦の物語。

「協走組曲」の作品世界

「大阪マラソン」を舞台の中心に、視覚を失ったヒロインとそれを取り巻く仲間たち。

モチーフは『マラソン』『伴走』『音楽』『親子愛』。

また全盲ランナーにとっての知覚である『音』が劇中キーワードとなります。

テーマは『絆』であり、劇中にて「目に見えない確かな人の絆」を描きます。

個性豊かなキャラクターに、誰しもがどこかで共感し、また勇気をもらえる。

近年の小劇場界では珍しい、真っすぐで情熱的な王道エンターテインメント作品。

《協走組曲プロジェクト作品の特徴》

〔Ⅰ〕 「協走組曲」は、観てくださった方に、必ず「元気」と「感動」「一歩を踏み出す勇氣」を与える王道エンターテインメントです。

ステージタイガーの全作品に一貫していえることは、お客さんが会場を出た時、「よし、私も前に進もう」と、勇氣をもって帰っていただけることです。

困難の壁にぶつかった時、幻想的で都合のよいことが必ず起きるほど、世界は優しくはありません。

しかし、現実の中で打ちのめされそうになっても、傷つきながらも遅くまた立ちあがる姿を舞台上で表現することで、観ていただくお客様の心に感動と行動への第一歩を進める後押しができることを願って、我々は舞台を作っています。

〔Ⅱ〕 様々な舞台環境での公演を想定し「どんな会場やイベントでも上演可能な、高いクオリティーの作品提供」を目的に完成させました。

小さな芝居小屋から大きな文化ホール、または芝居には適さないようなライブハウスまで、柔軟な演技プランによる対応で、スペースさえあればほとんどすべての環境での上演が可能です。また、「序章」「第2楽章」「第3楽章」と各土地の劇場やイベントのTPOにあった形の協走組曲の上演を行うことができます。

〔Ⅲ〕 本編上演時間は 60 分。最もお客様が集中して楽しめる時間を考慮致しました。

協走組曲本編の上演時間は 60 分。観客席の環境が限られているような会場であったとしても、最も芝居に集中して楽しみやすく疲れない上演時間を考慮して創作しました。

〔Ⅳ〕 舞台は大道具を使用しない素舞台での演技を行い、小道具もほぼ使用しないため、ハード面でのコストがかかりません。

役者の鍛え上げられた肉体とエネルギーを活かした表現だけで、その世界観を築き上げるのが協走組曲のセールスポイントです。

《出演料目安》

【① 9万×ステージ数】 + 【② 音響、照明等費用 8万×日数】 + 【③移動費、宿泊費】

①は、公演数が増えるほど減額させていただきます。

②は、会場と規模によって変更可能です。場所と予算に合わせた舞台作りをご相談させていただきます。

③は、近畿圏外や複数日程のときはご相談させていただきます。

〔その他〕 バリエティ豊かな「短編作品」も数多く揃っています。

2012年5月に上演した「第2楽章」は、テーマやモチーフは同じながらも本章とは異なった時系列、世界観、登場人物による約20分の短編作品。その他、数多くの路上パフォーマンスで生まれた作品がステージタイガーにはあります。5分で収まるパフォーマンスや、30分程度のショーケースイベント用の作品まで、場所やニーズに合わせた作品を作ることを我々は心掛けています。

ステージタイガー「協走組曲」を招致してみませんか！？

お気軽にお問い合わせください！